

別記
第1号様式(第14条関係)

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事	2012年 6月 20
住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地) 京都府京田辺市大住西北向13-1	氏名(法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 大日本ボックス京都株式会社 代表取締役社長 岡田 公房
環境マネジメントシステムの名称	ISO14001
適用範囲	大日本ボックス京都株式会社本社工場
導入年月日	2001年 12月 21日
認証番号	JSAE458-7
基本方針	ディプスグループ環境方針による
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標(以下「目標」という。)	平成21年度対比平成24年に二酸化炭素排出3%削減目標
目標を達成するための取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・生産性の向上 ・ロスの削減 ・高効率照明ランプ、灯具への更新 ・避難誘導灯の高効率ランプへの更新 ・エアコン更新 ・自動販売機の更新 ・クランプ・フォークリフトの更新 ・遮熱塗料の塗布
目標を達成するための取組の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・生産性の向上、ロスの削減に関しては前年実績を更新できたものと、出来なかったものが半々ほどであった。 ・事務所の照明を省エネタイプに変更 ・バッテリーリフト(1台)入替(ガソリン→バッテリー)
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	<ul style="list-style-type: none"> ・生産性、ロスの目標に達成できなかったものに関しては機械を入れ替えるなどして対応していきたい。23年度は印刷機の検査装置入れ替えによって24年度に生かす。 ・その他に関してはほぼ計画通りに進んでいる。
事業活動に係る法令の遵守の状況	関係する環境法令、条例等要求リスト並びに順守評価表にてチェック これまで違反及び行政当局からの指摘はなし。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	2001年以降毎年環境マネジメントマニュアルを改訂。改訂履歴はマニュアル2ページ目に一覧表に掲載。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。